

韓国から努力の人来日

敬表市長さん の障害者



表さん(右)が名古屋市役所でハーモニカを演奏する

講演会などを続けている。表さんの努力する素晴らしさを感じてもらおうと、韓日友好修交協会(西区)が日本に招待した。

表さんは来日後、市内の小学校や病院などを訪れ、似顔絵を描いたり、ハーモニカを演奏したりして、子どもやお年寄りと交流している。各会場での様子を河村市長に報告した後、ハーモニカを演奏すると、河村市長は「立派なもんだね。みんな元気が出る」と感激。表さんは「(日本に来て)多くの人が感動してくれてよかった」と話した。十二日に帰国の予定。

両手が動かず、手術を受けてわずかに足が動くのみ。幼いときに両親に保育園の前に置き去りにされ、施設で育った。趣味でハーモニカを演奏するほか、リハビリを兼ねて足で絵を描き、障害者への理解を深めてもらうため

日韓国交正常化五十周年に合わせ障害者への理解を深めてもらうと、身体障害者で韓国から来日中の表亨民(ヒョウミン)さん(二もらが九日、名古屋市役所に河村たかし市長を表敬訪問した。

表さんは生まれつき